

骨材のふるい分け試験 (JIS A 1102)

様式・品質3-1

工事名 \_\_\_\_\_  
 工種 \_\_\_\_\_  
 プラント名 \_\_\_\_\_  
 試料採取 \_\_\_\_\_  
 場 所 \_\_\_\_\_  
 試験年月日 \_\_\_\_\_  
 試験場所 \_\_\_\_\_

最大寸法	細骨材	粗骨材
産地		
比重		
吸水量		

比重、吸水量は 年 月 日の測定値

測定者 \_\_\_\_\_ 印

現場代理人 \_\_\_\_\_

細骨材の種類				粗粒率				粗骨材の種類				粗粒率					
ふるい 呼び (mm)	の法	るい 質 (kg)	残 留 量	質量 百分率 (%)	累 加 分 率 (%)	ふるい 呼び (mm)	の法	るい 質 (kg)	残 留 量	質量 百分率 (%)	累 加 分 率 (%)	ふるい 呼び (mm)	の法	るい 質 (kg)	残 留 量	質量 百分率 (%)	累 加 分 率 (%)
						63											
						53											
						37.5											
9.5						31.5											
4.75						26.5											
2.36						19											
1.18						16											
0.6						9.5											
0.3						4.75											
0.15						2.36											
Ⅲ					100	Ⅲ											100
計				100		計											100

防舷材形状管理表 (例)

工事名 \_\_\_\_\_ 型式 \_\_\_\_\_

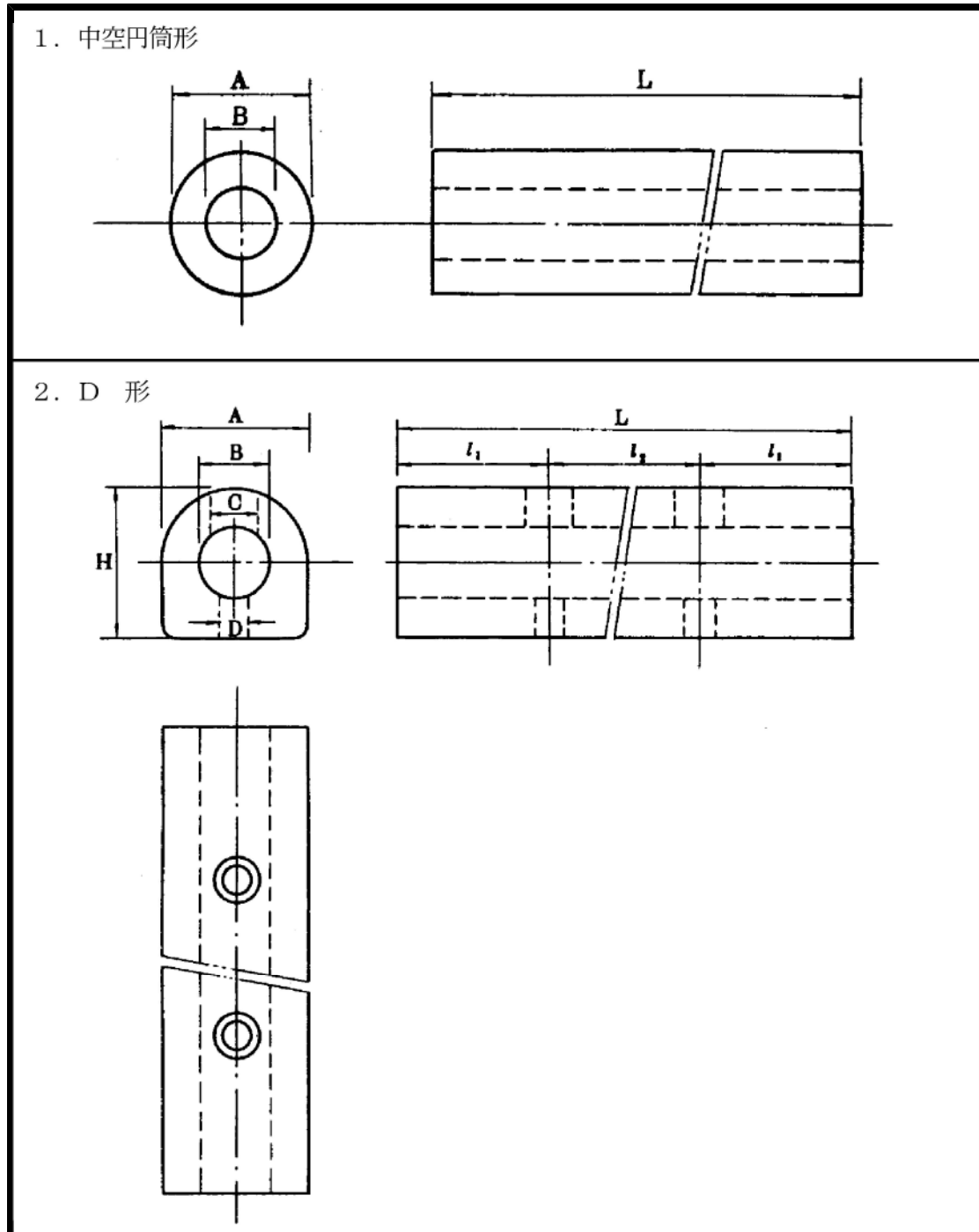
年 月 日 \_\_\_\_\_ 現場代理人 \_\_\_\_\_

単位 mm

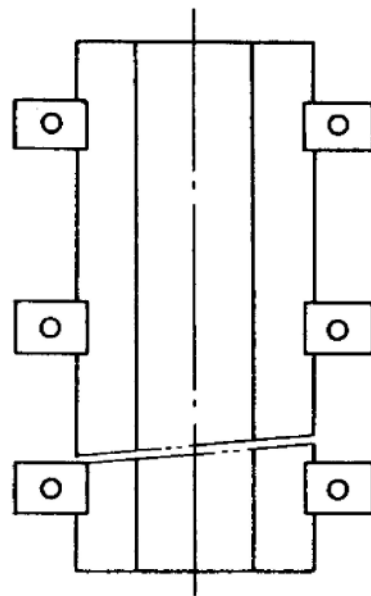
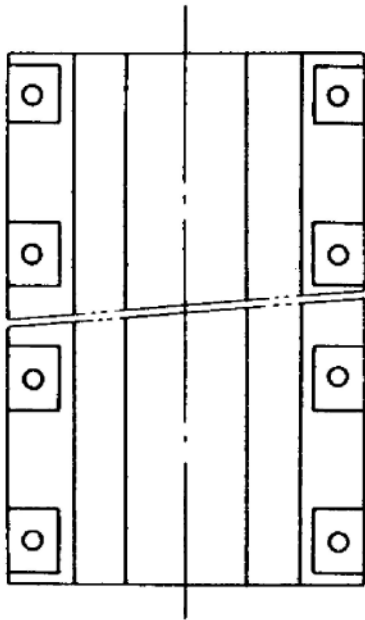
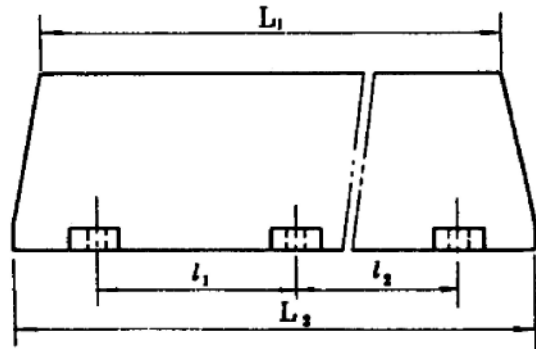
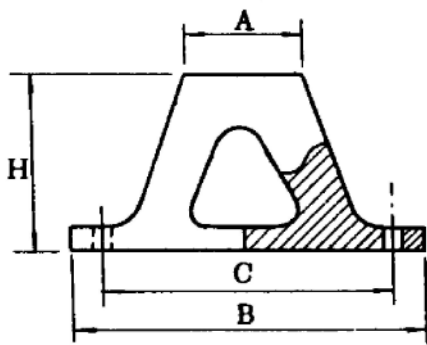
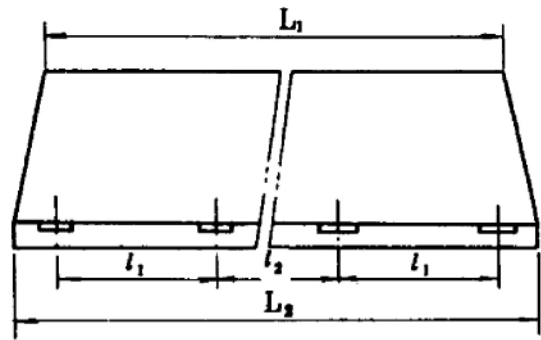
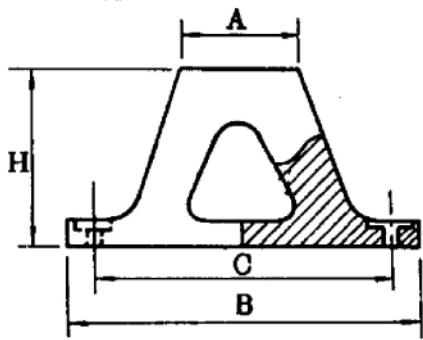
測定箇所		標準寸法	No.	No.	No.	備 考
長 さ	L <sub>1</sub>					
	L <sub>2</sub>					
幅	A					
	B					
高 さ	H					
ボルト穴径						
ボルト穴の 中心間隔	C					
	I <sub>1</sub>					
	I <sub>2</sub>					
そ の 他						

(別紙)

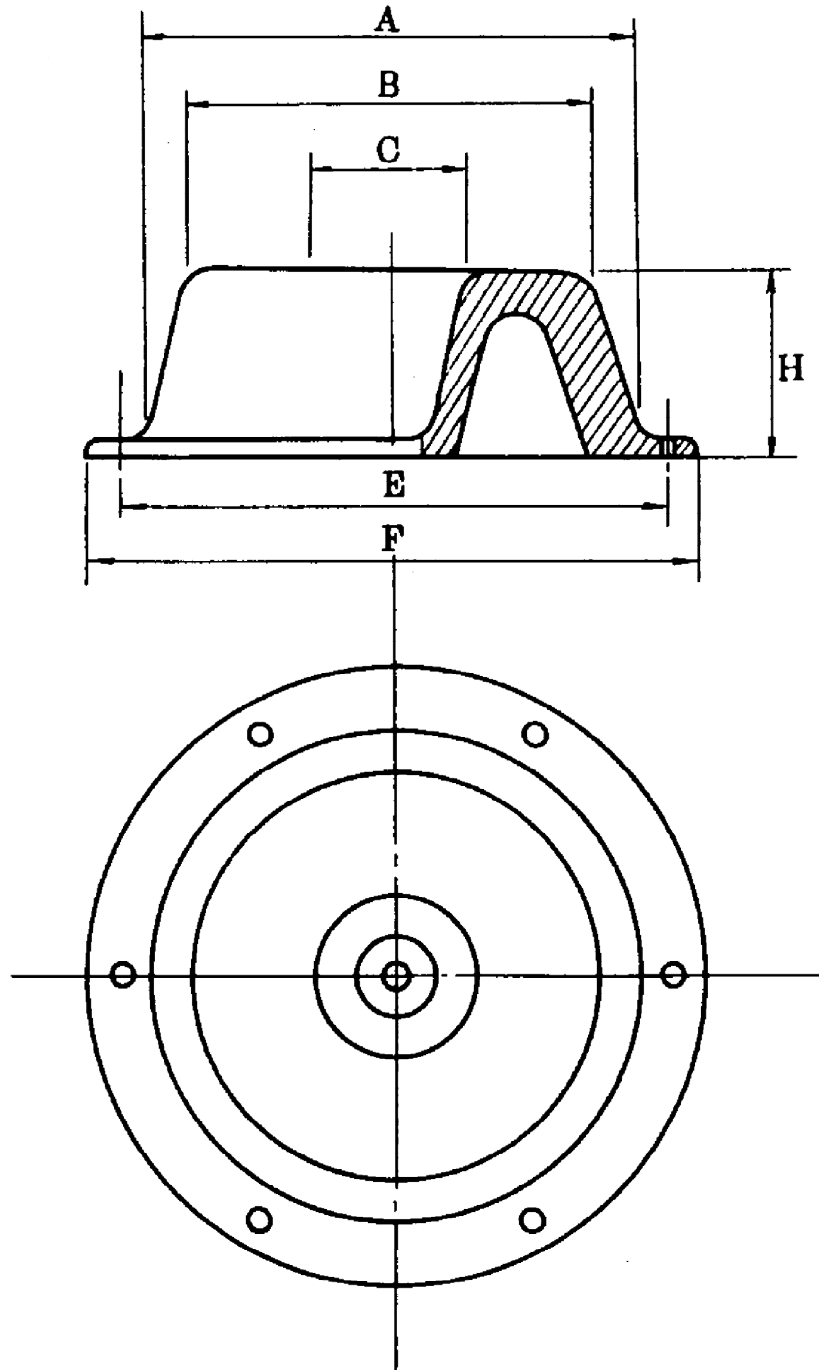
防舷材形状測定箇所 (例)



3. V 形



4. サークル形



## コンクリート試験成績表（試験練用）

工 事 名	工 種
試 験 日      年      月      日	立 会 者 <span style="float: right;">㊟</span>
試 験 場 所	// <span style="float: right;">㊟</span>

### 1 示方配合表

粗骨材の 最大寸法 (mm)	スランプの 範 囲 (cm)	空 気 量 の 範 囲 (%)	水セメント比 W/C (%)	細 骨 材 率 s/a (%)

### 2 現場配合表

コンクリート量 (m <sup>3</sup> )	W (kg)	C (kg)	S (kg)	G (kg)
1				

### 3 試料採取及び養生（JIS A 1115 及び 1132）

採 取 年 月 日	
採 取 場 所	
採 取 時 刻	
天 候	
気 温	
コンクリート温度	
ス ラ ン プ	
空 気 量	
養 生 方 法	
養 生 温 度	
材 令	

プラント名 \_\_\_\_\_

測定者 \_\_\_\_\_ (印)

現場代理人 \_\_\_\_\_

単 位 量 (kg/m <sup>3</sup> )				
水, W	セメント, C	細骨材, S	粗骨材, G	混和剤( )

混和剤 (ml, g)	表面水 (%)		摘 要	
	S	G		

4 試験成績表 (JIS A 1108 又は 1106)

供試体番号	No.	1	2	3	平均
供試体の直径	cm				
"  幅	"				
"  高さ	"				
"  長さ	"				
"  スパン	"				
最大荷重	kN				
圧縮強度	N/mm <sup>2</sup>				
曲げ強度	"				
破壊状況					
その他					

## コンクリート強度（圧縮）管理表

工事名 \_\_\_\_\_ 工種 \_\_\_\_\_

打設年月日	番 号	スランプ (cm)	空気量 (%)	温 度 (°C)		
					試験月日	X <sub>1</sub>

### 設 計 条 件

呼 び 強 度	N/mm <sup>2</sup>	標 準 偏 差	N/mm <sup>2</sup>
粗骨材の最大寸法	mm	変 動 係 数	%
スランプの範囲	cm ~ cm	割 増 係 数	
空気量の範囲	% ~ %	配 合 強 度	N/mm <sup>2</sup>

X管理  
管理限界=

UCL =

LCL =

$$\bar{X} = \frac{\sum X}{N} =$$

※ J I S工場の場合はRs、Rm、(X -  $\bar{X}$ )<sup>2</sup>、標準偏差、変動係数、割増係数、配合強



現場代理人 \_\_\_\_\_

$\sigma_{28}$			R s	R m	$(X - \bar{X})^2$	摘 要
X <sub>2</sub>	X <sub>3</sub>	平均値 X				

図 R s 管理図 R m 管理図 標準偏差  $\sigma = \sqrt{\frac{\sum (X - \bar{X})^2}{N - 1}}$

$\bar{X} \pm 2.66\bar{R}_s$  管理限界 =  $3.27\bar{R}_s$  管理限界 =  $2.57\bar{R}_m$   
 $UCL =$   $UCL =$  (n=3)

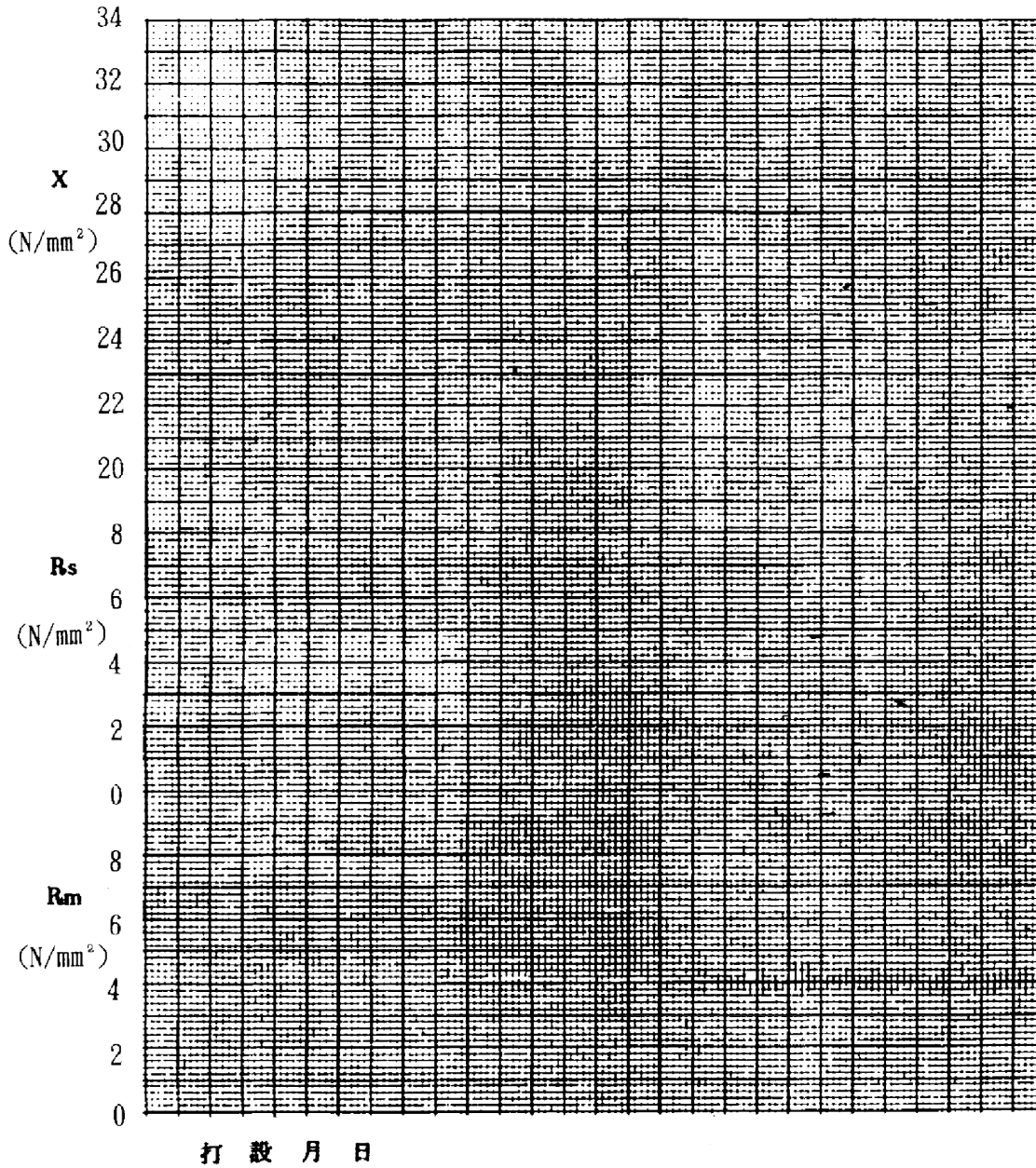
$\bar{R}_s = \frac{\sum R_s}{N-1} =$   $\bar{R}_m = \frac{\sum R_m}{N} =$  変動係数  $V = \frac{\sigma}{\bar{X}} \times 100 =$

度は不要

コンクリート強度（圧縮）管理図

工事名

工種



現場代理人

---

